

鳴門市スポーツ推進計画（前期計画）

実施状況 及び
鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査

本市では、平成 27 年 2 月に策定された鳴門市スポーツ推進計画（前期計画）に基づき、スポーツ振興に係る施策を推進してきた。本計画において掲げた 8 つの数値目標と 26 の個別施策の実施状況及び令和 2 年 6 月に実施した鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査の結果について検証する。

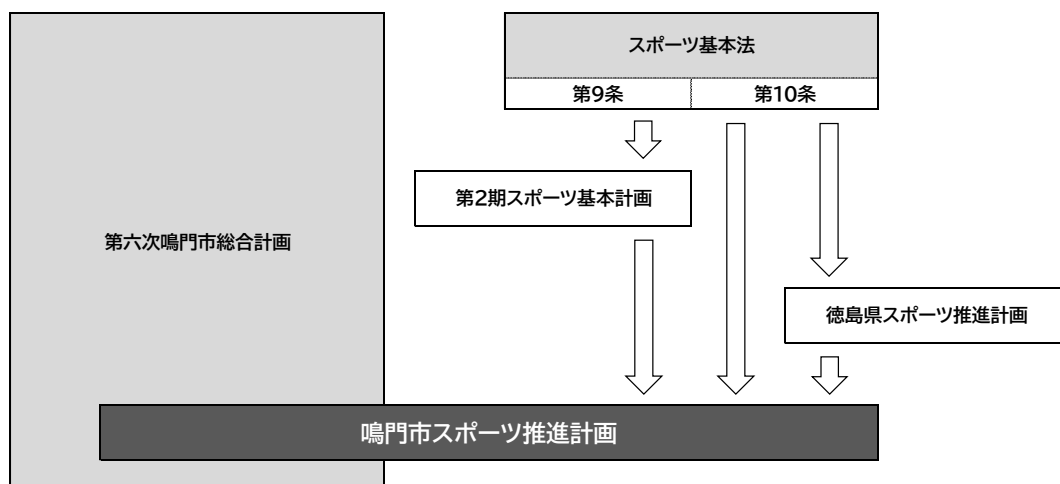
- | | | |
|-----------------------|------------------|--------|
| 1. スポーツ推進計画 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 ページ |
| 2. 計画の実施状況 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 ページ |
| 3. 市民のスポーツライフに関する実態調査 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 11 ページ |

1. スポーツ推進計画

1) 概 要

鳴門市スポーツ推進計画は、多面にわたるスポーツの果たす役割の重要性に鑑み、スポーツに関する施策を本市の特性に応じて自主的かつ主体的に推進するため、また、「第六次鳴門市総合計画」に掲げられた「生涯スポーツの振興」に係る取り組みをさらに推し進めるために、スポーツ基本法第10条に基づき、平成27年2月に平成27年度から令和6年度までの10年を計画期間として策定したものである。

●計画の位置づけ



●計画期間

検 証					見直し				
▽					▽				
H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024
前期計画期間 6年					後期計画期間 4年				

2) 体 系

基本理念「スポーツうずまくまち になると」

基本目標 1 子ども・青少年の体育・スポーツ機会の充実

計画の実施状況

- | | | |
|-------|----------------------|-------|
| 施 策 1 | 子ども・青少年のスポーツ活動の推進 | 3 ページ |
| | ①スポーツ活動機会の充実 | |
| | ②スポーツ少年団の活動支援 | |
| | ③スポーツ大会等の開催（子ども・青少年） | |
| | ④スポーツボランティアとの連携 | |
| 施 策 2 | 学齢期の体育活動機会の充実 | 4 ページ |
| | ①小中学生の体育活動への支援 | |
| | ②四国大会及び全国大会等出場支援 | |
| | ③スポーツ指導者の活用 | |
| | ④顕彰制度の推進（子ども・青少年） | |

基本目標 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- | | | |
|-------|---------------------------|-------|
| 施 策 1 | スポーツの参加機会の拡充 | 6 ページ |
| | ①日常的にスポーツに参加することができる機会の提供 | |
| | ②スポーツ大会等の開催（成人） | |
| | ③学校体育施設の活用 | |
| | ④スポーツボランティアの拡充 | |
| | ⑤観るスポーツの機会の創出 | |
| | ⑥スポーツ情報の発信 | |
| 施 策 2 | 高齢者のスポーツ活動の支援 | 8 ページ |
| | ①介護予防事業との連携 | |
| | ②高齢者スポーツの支援 | |
| 施 策 3 | 障がい者のスポーツ活動の支援 | 8 ページ |
| | ①障がい者スポーツの支援 | |
| | ②障がい者スポーツ・レクリエーション大会の支援 | |
| 施 策 4 | 競技スポーツの支援 | 8 ページ |
| | ①学校・社会体育施設の優先使用 | |
| | ②全国大会および世界大会等出場支援 | |
| | ③顕彰制度の推進（成人） | |

基本目標 3 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

- | | | |
|-------|-------------------|--------|
| 施 策 1 | スポーツの関連組織への支援 | 10 ページ |
| | ①スポーツ協会への支援 | |
| | ②スポーツ推進委員会への支援 | |
| | ③総合型地域スポーツクラブへの支援 | |
| 施 策 2 | スポーツ活動における安全の確保 | 10 ページ |
| | ①スポーツ安全講習会等の開催 | |
| 施 策 3 | スポーツ施設の改修・整備の検討 | 10 ページ |
| | ①スポーツ施設の改修・整備の検討 | |

2. 計画の実施状況

基本目標 1 子ども・青少年の体育・スポーツ機会の充実

数値目標①

過去1年間の運動・スポーツの非実施者の割合をゼロに近づける

	平成24年度		令和2年度
小学生	4.0%	⇒	0.7%
中学生	9.9%		6.3%

数値目標②

全国体力・運動能力調査における「小学校5年生、中学校2年生の体力合計点」全国平均点以上の維持 ※「体力合計点」とは、各テスト8項目に係る得点を合計した点数の平均値

	平成25年度			令和元年度	
	鳴門市	全 国		鳴門市	全 国
小5男子	53.92	53.87	⇒	53.26	53.61
小5女子	56.27	54.70		54.92	55.59
中2男子	44.25	41.78		43.17	41.69
中2女子	53.70	48.42		50.33	50.22

施策（1） 子ども・青少年のスポーツ活動の推進

個別施策① スポーツ活動機会の充実

- ・ 徳島ヴォルティスによる小学校・幼稚園巡回スポーツ指導（H27年度～）
- ・ スポーツ推進委員が主となり鳴門市体力測定を開催（H27.10）
- ・ 徳島インディゴソックスと連携し、子どもスポーツフェスティバルを開催（H27.12）
- ・ K O B A ☆トレの実施（H29年度～ 小学校、R1年度～ 保育園）
- ・ 総合型地域スポーツクラブによる幼稚園・認定子ども園への訪問運動指導（R1年度～）

個別施策② スポーツ少年団の活動支援

- ・「テレビ広報なると」にて各団の活動紹介、加入促進
- ・本市出身の元プロ野球選手里崎智也氏をスポーツアドバイザーに委嘱（H27.5）、野球教室（H27年度）や講演会（H28、29年度）を開催
- ・市公式ウェブサイト内に開設したスポーツサイトで、各団の活動紹介、加入促進、大会カレンダーを掲載（H30.8～）

個別施策③ スポーツ大会等の開催（子ども・青少年）

- ・鳴門クロスカントリー大会開催
- ・スポーツ少年団駅伝競走大会開催
- ・徳島駅伝への小中高生の参加
- ・子ども向けキックバイクの大会開催（H28年度～）
- ・Tリーグ女子日本生命レッドエルフによる卓球教室開催（H31.4）
- ・鳴門うずしお杯全国少年選抜野球大会開催（R2.2）

年度	鳴門クロスカントリー大会 （申込者）				スポーツ少年団 駅伝競走大会 （参加者）	
	小学生	中学生	高校生	合計	チーム数	小学生
H27	225	55	64	344	12	130
H28	250	37	59	346	14	147
H29	180	38	45	263	13	142
H30	199	32	55	286	12	124
R 1	184	44	53	281	9	110

個別施策④ スポーツボランティアとの連携

- ・鳴門クロスカントリー大会、スポーツ少年団駅伝競走大会等における運営ボランティア

施 策（２） 学齢期の体育活動機会の充実

個別施策① 小中学生の体育活動への支援

- ・小学校体育連盟主催の陸上記録会、水泳検定記録会等を支援
- ・中学校体育連盟の運営に対し補助金を交付し、体育活動を支援

個別施策② 四国大会及び全国大会出場支援

- ・ スポーツ協会、スポーツ振興後援会、中学校体育連盟より激励金を交付

個別施策③ スポーツ指導者の活用

- ・ 中学校の運動部活動へ部活動指導員を配置（H30 年度～）

年度	人数	配置先
H30	1 名	鳴門中 陸上部 1 名
R 1	4 名	鳴門中 陸上部 1 名
		第一中 サッカー部 1 名
		第一中 卓球部 1 名
		大麻中 バスケットボール 1 部

個別施策④ 顕彰制度の推進（子ども・青少年）

- ・ 教育委員会、スポーツ協会、スポーツ少年団より表彰

年度	教育委員会表彰		スポーツ協会表彰 (優秀者・奨励者)			スポーツ 少年団表彰
	小学生	中学生	小学生	中学生	高校生	小学生
H27	10	20	23	20	1	16
H28	3	22	1	23	10	1
H29	－	1	35	1	3	19
H30	1	－	13	1	7	1
R 1	－	6	14	5	7	1

基本目標 2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

数値目標①

成人の週 1 回以上の実施割合 65%程度の達成

平成 24 年度	⇒	令和 2 年度
35.5%		46.0%

数値目標②

「鳴門市チャレンジデーへの参加率」60%の達成

平成 26 年度	⇒	令和元年度
54.9%		66.6%

数値目標③

スポーツボランティアの実施率 16%の達成

平成 24 年度	⇒	令和 2 年度
8.6%		6.1%

施 策（１） スポーツの参加機会の拡充

個別施策① 日常的にスポーツに参加することができる機会の提供

- ・生涯スポーツ推進事業を実施（H27 年度～）

個別施策② スポーツ大会等の開催

- ・鳴門クロスカントリー大会開催
- ・鳴門市チャレンジデー開催
- ・大麻町ジングルベルマラソン大会開催
- ・鳴門リレーマラソン in 鳴門教育大学開催（H27 年度～）
- ・なると島田島ハーフマラソン開催（H29 年度～）
- ・鳴門・南あわじ渦潮グルメライド開催（H29 年度～）

- ・夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催（H29.8）
- ・スポーツ大会・スポーツ合宿誘致事業を実施（H30.9～）

年度	鳴門クロス カントリー大会	鳴門市チャレンジデー			島田島 ハーフマラソン
	申込者数 (小中高除く)	参加者数	イベント数	参加率	参加者数
H27	78	30,295	41	49.9%	—
H28	62	35,142	41	58.5%	—
H29	83	38,115	45	64.0%	1,344
H30	82	37,235	43	63.6%	1,268
R 1	70	38,479	46	66.6%	1,268

個別施策③ 学校体育施設の活用

- ・市内 13 小学校及び 4 中学校にて学校体育施設を開放し、市民に身近なスポーツ活動の場を提供

個別施策④ スポーツボランティアの拡充

- ・なると島田島ハーフマラソン（高校生約 260 名参加）や大麻町ジングルベルマラソン大会等、スポーツイベントにおける運営ボランティア
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレーボランティアを公募（R2.3）

個別施策⑤ 観るスポーツの機会の創出

- ・転入者を徳島ヴォルティスのホームゲームに無料招待（H30.9～）
- ・卓球「Tリーグ」男子公式戦開催（R1.9）

個別施策⑥ スポーツ情報の発信

- ・市公式ウェブサイト内にスポーツサイトを開設（H30.8～）

施 策（２） 高齢者のスポーツ活動の支援

個別施策① 介護予防事業との連携

- ・ 総合型地域スポーツクラブと連携し、「中国健康体操教室」「シニアハワイアンフラ教室」「歩いて通えるご近所げんき工房」を実施

個別施策② 高齢者スポーツの支援

- ・ 徳島ヴォルティスと連携し、いきいきサロンでの健康教室を開催（H29 年度～）

施 策（３） 障がい者のスポーツ活動の支援

個別施策① 障がい者スポーツの支援

- ・ 総合型地域スポーツクラブと連携し、小中学校で障がい者スポーツふれあい交流授業を実施（R1 年度～）
- ・ 総合型地域スポーツクラブと連携し、車いすバスケットボール等、定期的な障がい者スポーツ体験機会を創出（R1 年度～）

個別施策② 障がい者スポーツ・レクリエーション大会の支援

- ・ 障がいのある人もない人も参加できるスポーツ・レクリエーション大会を開催（年 1 回）

施 策（４） 競技スポーツの支援

個別施策① 学校・社会体育施設の優先利用

- ・ 市スポーツ協会加盟団体、総合型地域スポーツクラブのスポーツ施設優先利用及び使用料減免
- ・ K O B A ☆ トレを実施、高校スポーツの競技力向上を推進（R1 年度～）

個別施策② 全国大会及び世界大会等出場支援

- ・ スポーツ協会、スポーツ振興後援会より激励金を交付

個別施策③ 顕彰制度の推進

年度	鳴門市スポーツ協会表彰			
	功労者表彰	優秀者表彰	奨励者表彰	優秀者特別表彰
H27	5	17	1	－
H28	5	9	－	1
H29	4	11	1	－
H30	5	15	1	－
R 1	4	12	1	－

基本目標 3 市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

数値目標①

総合型地域スポーツクラブの利用者数（延べ人数）30,000 人の達成

平成 25 年度	⇒	令和元年度
15,633 人		30,471 人

数値目標②

総合型地域スポーツクラブの認知度 30%の達成

平成 24 年度	⇒	令和 2 年度
13.2%		16.8%

数値目標③

スポーツ活動中の安全確保を図るための講習会等への指導者や競技者等の参加者数（延べ人数）200 人の達成

平成 26 年度	⇒	令和元年度
12 人		34 人

施 策（１） スポーツ関連組織への支援

個別施策① スポーツ協会への支援

- ・ スポーツ協会へ補助金を交付

個別施策② スポーツ推進委員会への支援

- ・ 各種研修会等、スポーツ推進委員会の活動を支援

個別施策③ 総合型地域スポーツクラブへの支援

- ・ 総合型地域スポーツクラブのスポーツ施設優先利用及び使用料減免、広報紙等、市の媒体を活用した広報協力

施 策（２） スポーツ活動における安全の確保

個別施策① スポーツ安全講習会等の開催

- ・ スポーツ指導者研修会・安全講習会を開催（年１回程度）

施 策（３） スポーツ施設の改修・整備の検討

個別施策① スポーツ施設の改修・整備の検討

- ・ なるちゃんコート（人工クレーのテニスコート５面）整備（H30. 5）
- ・ スケートボード場・バスケットボールコートを備えた UZUPARK をポートレース鳴門敷地内に整備（H30. 11）
- ・ 市総合運動場トイレ改修（バリアフリースイレ）（H31. 2）
- ・ ボルダリング壁面を備えた UZUHALL をポートレース鳴門敷地内に整備（R2. 2）

3. 市民のスポーツライフに関する実態調査

1) 調査目的

市民のスポーツ実施状況やニーズを把握するとともに、前回平成 26 年度の調査結果や全国の実施状況等との比較を行い、本市が実施する施策や事業の在り方を検討するため

2) 調査期間

令和 2 年 6 月 1 日～6 月 30 日

3) 調査項目

I 青少年を対象	① 過去 1 年間に行った運動・スポーツ 実施した種目／回数の多い主な 5 種目の実施頻度・時間 ② 今後行いたい運動・スポーツ ③ 習いごとの実施状況 ④ 学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入状況 ⑤ スポーツボランティア 過去 1 年間の活動の有無／活動内容／今後の意向
II 成人を対象	① 過去 1 年間に行った運動・スポーツ 実施した種目／実施した日数 ② 今後行いたい運動・スポーツ ③ スポーツクラブ・同好会・チーム 加入状況／今後の意向 ④ 総合型地域スポーツクラブの認知度 ⑤ スポーツボランティア 過去 1 年間の活動の有無／活動内容と頻度／今後の意向 ⑥ ゴールデン・スポーツイヤーズ ラグビーワールドカップ 2019・東京 2020 オリンピック・パラリンピック事前キャンプの認知度／ワールドマスターズゲームズ関西 2021 の認知度・参加の意向／スポーツレガシーへの関心 ⑦ スポーツを通じた地域活性化 市の取り組みの認知度／発信すべき市の魅力 ⑧ スポーツ施設の整備 市のスポーツ施設の利用状況／新しいスポーツ施設の必要性・望む役割・必要な設備／新しいスポーツ施設が必要ではない理由

4) 調査対象及び回収結果

I. 青少年向け

調査対象：市内公立校在籍の小学4年生から高校3年生の児童生徒各学年100人
合計900人
回収状況：871人／男性432人・女性431人・性別未回答8人（回収率96.8%）

参考資料

- ・ 笹川スポーツ財団 4～11歳／12～21歳のスポーツライフに関する調査
（調査時期 令和元年6月29日～7月20日／標本数1,748 ※小学校4年生～高校3年生）

II. 成人向け

調査対象：20歳代～70歳代の各年代200人 合計1,200人
回収状況：346人／男性151人・女性190人・性別未回答5人（回収率28.8%）

	n				%		
	男性	女性	性別 未回答	合計	男性	女性	合計
20歳代	14	18	1	33	9.3%	9.5%	9.5%
30歳代	21	22		43	13.9%	11.6%	12.4%
40歳代	24	37		61	15.9%	19.5%	17.6%
50歳代	24	33		57	15.9%	17.4%	16.5%
60歳代	28	41		69	18.5%	21.6%	19.9%
70歳代	39	39		78	25.8%	20.5%	22.5%
不明	1		4	5	0.7%	0%	1.4%
合計	151	190	5	346	100.0%	100.0%	100.0%

参考資料

- ・ 笹川スポーツ財団 スポーツライフに関する調査
（調査時期 平成30年7月6日～8月10日／標本数3,000）
- ・ スポーツ庁 スポーツの実施状況等に関する世論調査
（調査時期 令和元年11月22日～12月13日／標本数19,510 ※20歳以上）

5) 調査方法

質問紙調査

6) 調査結果

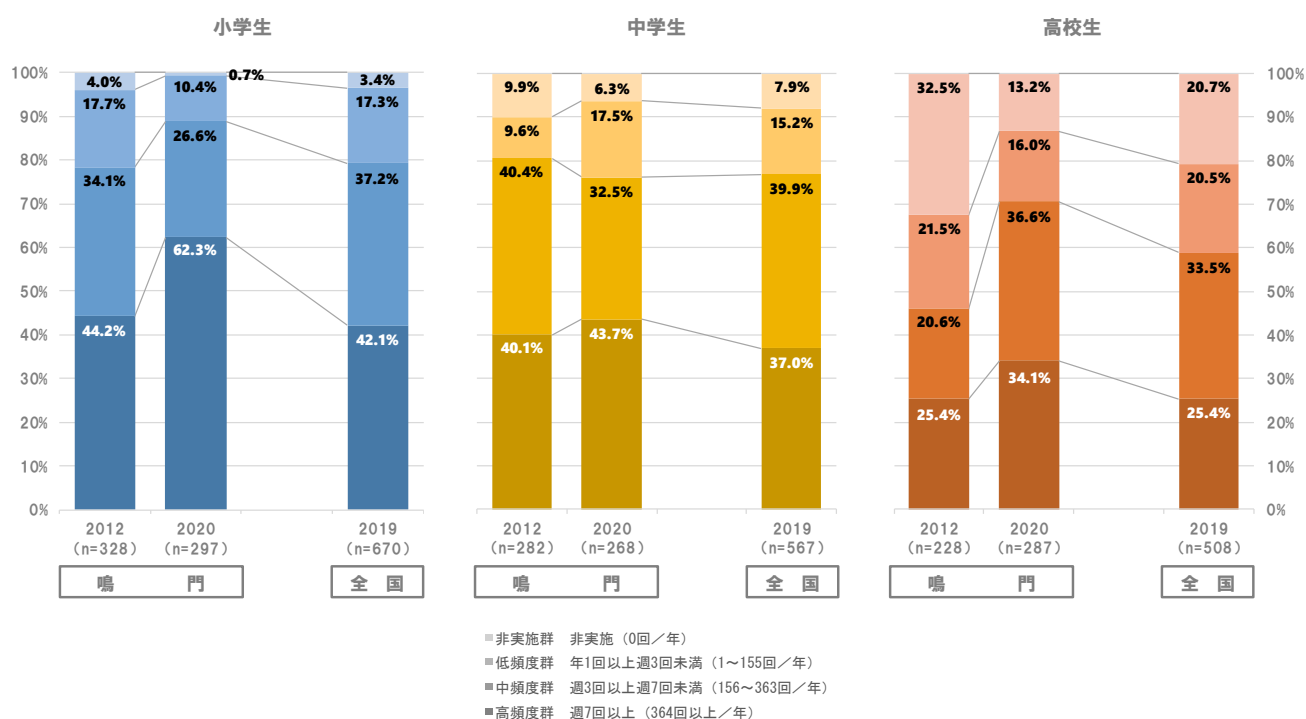
I. 鳴門市の青少年のスポーツライフに関する実態調査

① 過去1年間に行った運動・スポーツ

過去1年間に行った運動・スポーツの実施頻度を4つに分類して比較。

本市の前回調査の結果と比較すると、高頻度群の割合が高くなるとともに非実施群の割合が低くなっている。全国調査の結果と比較しても、本市の青少年の運動頻度は高い傾向にあることが伺える。

青少年の運動・スポーツの実施頻度



過去1年間に行った運動・スポーツの種目をみると、小学生・中学生・高校生いずれも全国調査と同様の結果となった。その中でも特に本市で実施割合が高い種目は「ウォーキング」となっており、反対に実施割合が低い種目は小学生・中学生での「水泳」が挙げられる。前回調査においてもみられたこの傾向は、市内に屋内温水プール等の施設がないことが影響していると考えられる。

過去1年間に行った運動・スポーツ種目

■2020 鳴門市の小学校 4～6 年生 (n=300／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	81.0%	243
2	ぶらんこ	74.0%	222
3	なわとび（長なわとびを含む）	70.7%	212
4	ドッジボール	59.0%	177
5	かくれんぼ	57.3%	172
6	鉄棒	53.7%	161
7	自転車あそび	52.7%	158
8	かけっこ	51.0%	153
9	ウォーキング	40.7%	122
10	サッカー	39.7%	119

■2019 全国の小学校 4～6 年生 (n=670／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	64.2%	430
2	ドッジボール	51.5%	345
3	水泳（スイミング）	46.0%	308
4	なわとび（長なわとびを含む）	41.5%	278
5	サッカー	38.7%	259
6	ぶらんこ	38.2%	256
7	自転車あそび	37.8%	253
8	かくれんぼ	33.0%	221
9	鉄棒	32.8%	220
10	かけっこ	29.6%	198

■2020 鳴門市の中学生 (n=271／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	おにごっこ	46.9%	127
2	なわとび（長なわとびを含む）	40.6%	110
3	ジョギング・ランニング	38.4%	104
4	ぶらんこ	34.7%	94
5	ウォーキング	34.3%	93
6	筋力トレーニング	31.4%	85
7	サッカー	31.0%	84
8	かくれんぼ	28.0%	76
9	バスケットボール	25.5%	69
10	キャッチボール	24.0%	65

■2019 全国の中学生 (n=567／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	31.4%	178
2	おにごっこ	31.2%	177
3	バスケットボール	26.8%	152
4	卓球	23.1%	131
5	ジョギング・ランニング	22.9%	130
6	水泳（スイミング）	22.6%	128
7	バドミントン	22.2%	126
8	なわとび（長なわとびを含む）	20.3%	115
9	ドッジボール	18.2%	103
10	ぶらんこ	18.0%	102

■2020 鳴門市の高校生 (n=300／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	37.7%	113
2	筋力トレーニング	28.3%	85
3	ジョギング・ランニング	27.3%	82
4	なわとび（長なわとびを含む）	25.3%	76
5	バドミントン	25.0%	75
6	サッカー	23.0%	69
7	バスケットボール	20.7%	62
8	おにごっこ	19.7%	59
9	卓球	18.0%	54
10	バレーボール	16.7%	50

■2019 全国の高校生 (n=508／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	20.9%	106
2	バスケットボール	20.7%	105
3	ジョギング・ランニング	20.5%	104
4	バドミントン	18.9%	96
5	バレーボール	15.7%	80
6	卓球	15.2%	77
7	筋力トレーニング	14.6%	74
8	ウォーキング	11.4%	58
9	おにごっこ	11.0%	56
10	なわとび（長なわとびを含む）	10.6%	54

② 今後行いたい運動・スポーツ

今後も続けたい、または新たに始めたい運動・スポーツの種目については、過去1年間に行った運動・スポーツに比べると球技が上位を占める結果となっている。

今後行いたい運動・スポーツ種目

■2020 鳴門市の小学校 4～6 年生 (n=223／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	19.3%	43
2	ドッジボール	15.7%	35
3	バスケットボール	14.8%	33
4	釣り	13.9%	31
5	水泳 (スイミング)	13.0%	29
6	バドミントン	10.8%	24
7	卓球	10.3%	23
8	おにごっこ	9.0%	20
9	野球	8.5%	19
10	スケートボード (スケボー)	7.2%	16
	ウォーキング	7.2%	16

■2020 鳴門市の中学生 (n=180／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	19.4%	35
2	バスケットボール	12.8%	23
3	筋力トレーニング	12.2%	22
4	卓球	10.6%	19
	バドミントン	10.6%	19
6	釣り	10.0%	18
7	ソフトテニス (軟式)	8.9%	16
	ジョギング・ランニング	8.9%	16
9	野球	7.8%	14
	陸上競技	7.8%	14
	弓道	7.8%	14

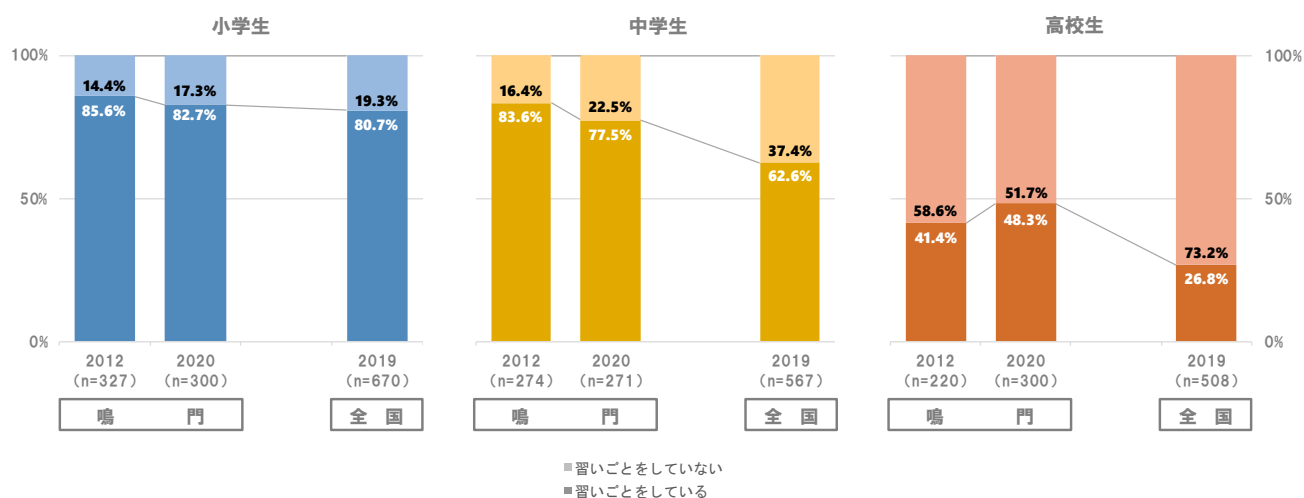
■2020 鳴門市の高校生 (n=168／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	サッカー	17.9%	30
2	バドミントン	14.9%	25
3	バスケットボール	14.3%	24
4	筋力トレーニング	13.7%	23
5	バレーボール	9.5%	16
	ジョギング・ランニング	9.5%	16
7	スケートボード (スケボー)	7.7%	13
	ウォーキング	7.7%	13
9	野球	6.5%	11
10	卓球	6.0%	10

③ 習いごと

次ページの運動・スポーツを含む習いごとの実施状況について、本市の前回調査の結果に比べて小学生・中学生の実施割合が低下した半面、高校生の実施割合が高くなった。いずれの年代においても全国調査の結果より高い傾向にある。

習いごとの実施割合



習いごとの実施状況

■2020 鳴門市の小学校 4～6 年生 (n=300／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	35.0%	105
2	ピアノ	14.0%	42
3	英会話	13.7%	41
4	習字	12.0%	36
5	水泳 (スイミング)	11.7%	35
6	サッカー	10.0%	30
7	バスケットボール	6.7%	20
8	野球	5.7%	17
9	空手	4.7%	14
	陸上競技	4.7%	14

■2019 全国の小学校 4～6 年生 (n=670／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	26.4%	177
2	水泳 (スイミング)	18.7%	125
3	ピアノ	14.8%	99
4	習字	14.2%	95
5	英会話	12.4%	83
6	サッカー	11.6%	78
7	そろばん	5.7%	38
8	ダンス (ジャズダンス、ヒップホップダンスなど)	5.4%	36
9	野球	5.2%	35
10	テニス	4.9%	33

■2020 鳴門市の中学生 (n=271／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	49.1%	133
2	サッカー	9.6%	26
3	英会話	8.5%	23
4	習字	7.0%	19
5	陸上競技	5.9%	16
6	ピアノ	5.2%	14
7	卓球	4.1%	11
8	バスケットボール	3.7%	10
9	家庭教師	3.3%	9
10	野球	3.0%	8

■2019 全国の中学生 (n=567／複数回答可)

順位	内容	割合	n
1	学習塾	37.6%	213
2	ピアノ	7.4%	42
3	習字	5.5%	31
4	英会話	5.1%	29
5	サッカー	3.2%	18
6	野球	2.8%	16
7	水泳 (スイミング)	2.5%	14
8	ダンス (ジャズダンス、ヒップホップダンスなど)	2.1%	12
9	テニス	1.9%	11
10	空手	1.4%	8

■2020 鳴門市の高校生（n=300／複数回答可）

順位	内容	割合	n
1	学習塾	23.3%	70
2	サッカー	4.7%	14
3	英会話	3.3%	10
3	ピアノ	3.3%	10
5	習字	3.0%	9
6	野球	2.7%	8
7	卓球	2.3%	7
7	バスケットボール	2.3%	7
9	家庭教師	1.3%	4
	空手	1.3%	4
	ダンス（ジャズダンス、ヒップホップダンスなど）	1.3%	4

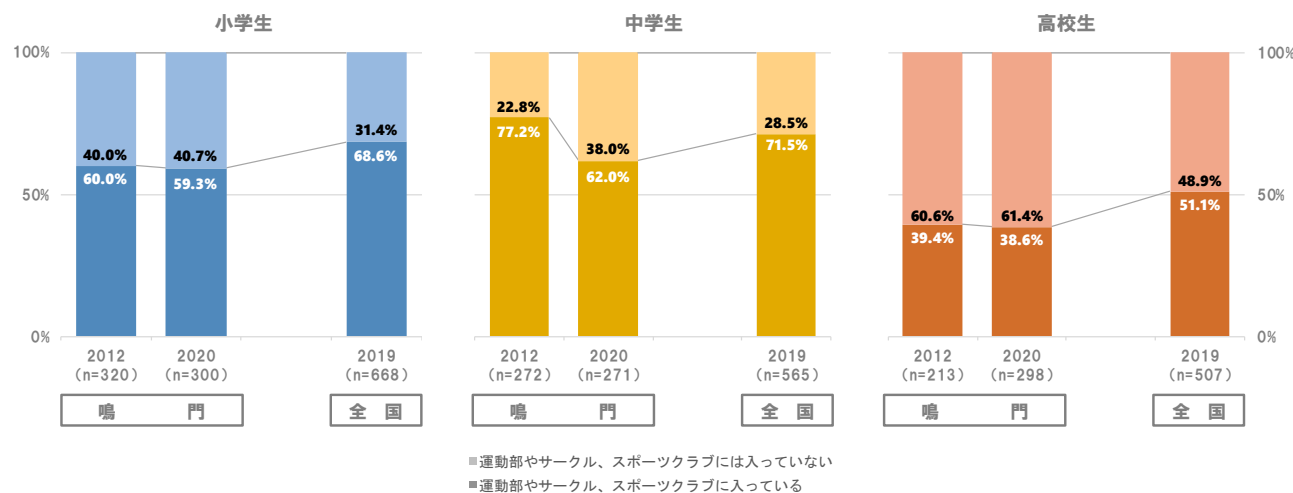
■2019 全国の高校生（n=508／複数回答可）

順位	内容	割合	n
1	学習塾	14.4%	73
2	ピアノ	3.0%	15
3	ダンス（ジャズダンス、ヒップホップダンスなど）	2.2%	11
4	習字	2.0%	10
5	英会話	1.8%	9
6	テニス	1.2%	6
7	空手	0.8%	4
8	卓球	0.6%	3
	水泳（スイミング）	0.6%	3
10	絵画	0.4%	2
	サッカー 他4項目	0.4%	2

④ 学校の運動部やサークル、スポーツクラブ

学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合について、小学生・高校生は横ばい、中学生は低下している。いずれも全国調査の結果より低い。

学校の運動部やサークル、スポーツクラブへの加入割合

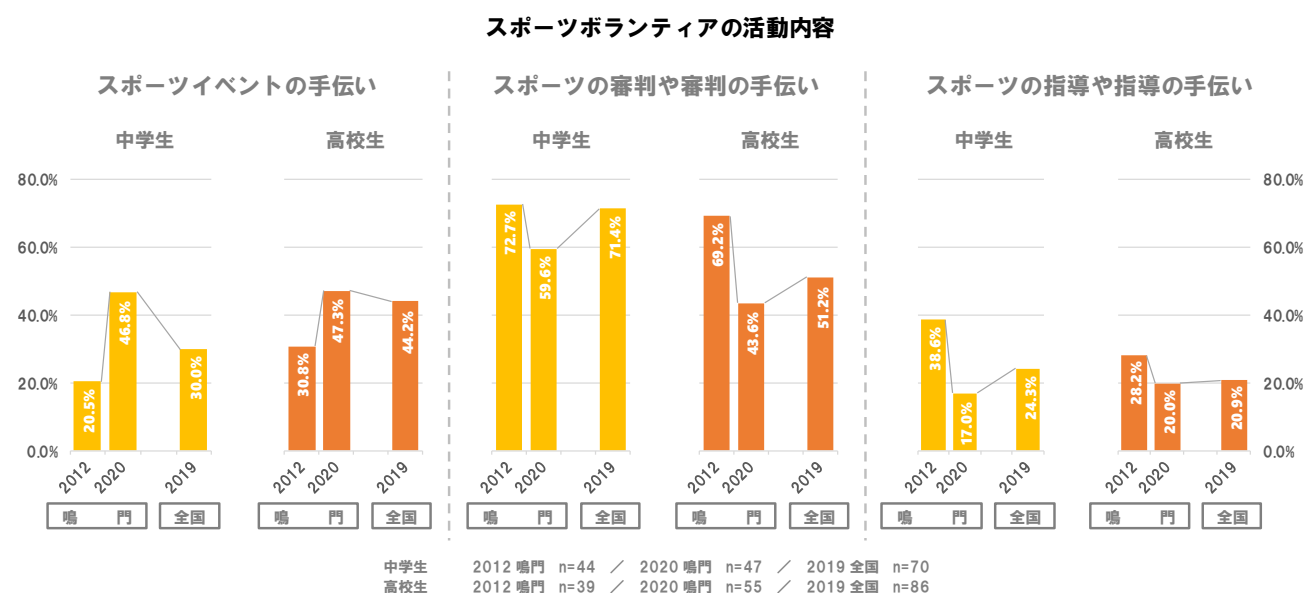
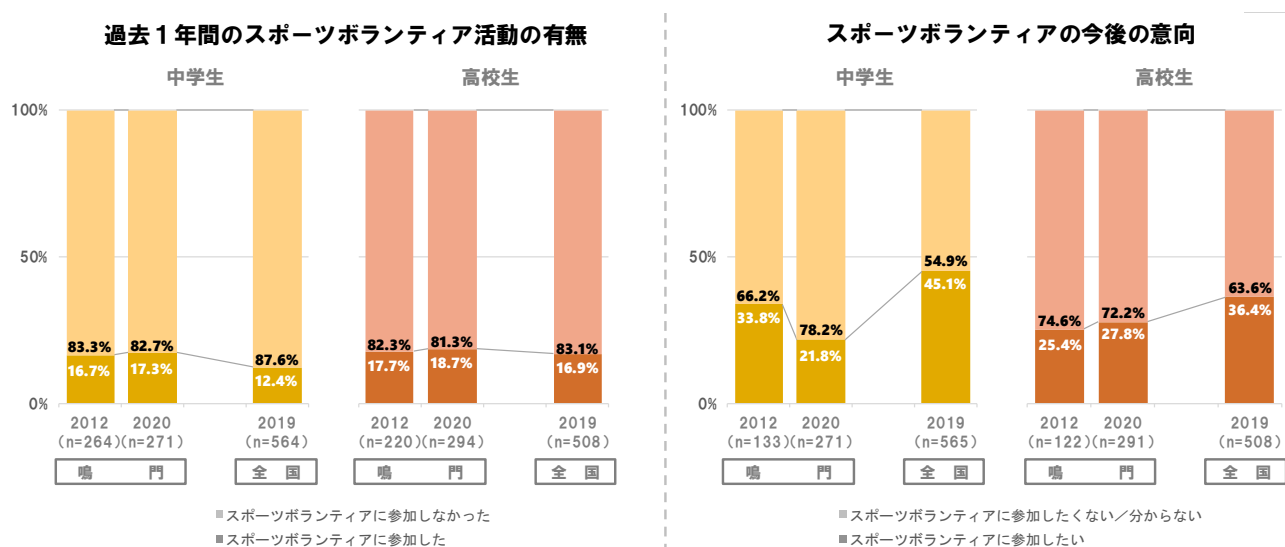


⑤ スポーツボランティア

スポーツ活動の手伝いや世話等、スポーツを支えるボランティア活動の実施割合をみると、全国調査の結果と比べて大きな差はない。

スポーツボランティアの今後の意向をみると、全国調査と比べて低い傾向にあり、特に中学生において顕著である。

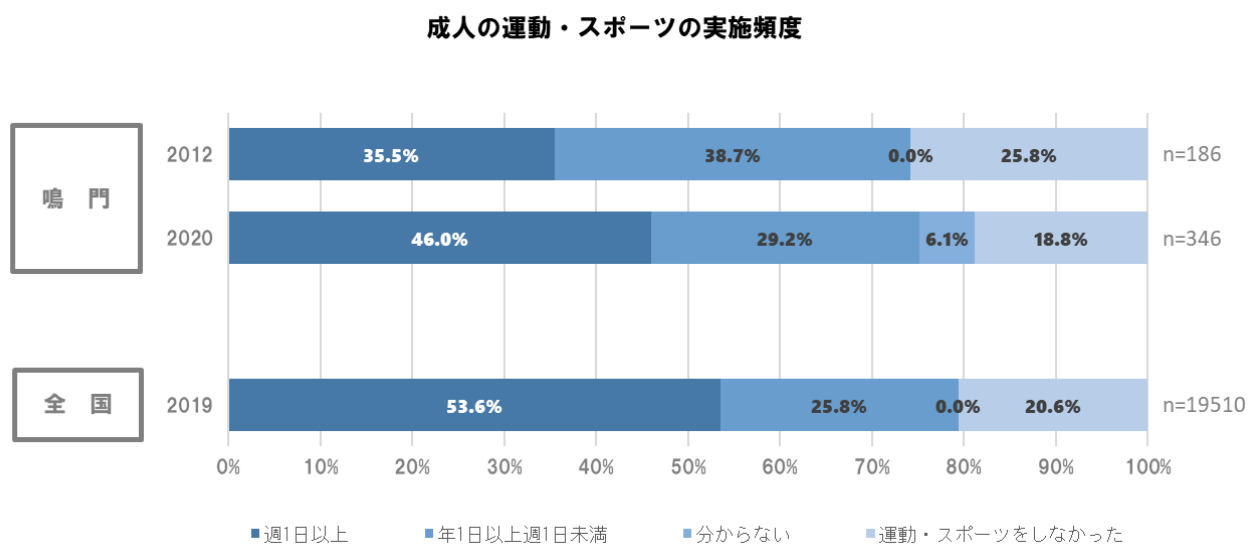
活動内容では、スポーツの審判や指導、及びそれらの手伝いの割合が減少し、スポーツイベントの手伝いの割合が高くなった。



Ⅱ．鳴門市民のスポーツライフに関する実態調査

① 過去1年間に行った運動・スポーツ

本市の成人の過去1年間に行った運動・スポーツの実施頻度については、「週1回以上」の割合が前回調査（35.5％）に比べて大きく改善したが（46.0％）、スポーツ庁の実施した全国調査「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果（53.6％）や国及び本市の目標（65％程度）には及ばなかった。



過去 1 年間に行った運動・スポーツの種目をみると、笹川スポーツ財団の行った全国調査とほぼ同様の結果となっており、歩行系（散歩、ウォーキング、ジョギング等）や体操系（軽い体操、筋力トレーニング等）が上位を占めている。その中でも、本市の調査結果の特徴としては、「散歩（ぶらぶら歩き）」や「ウォーキング」の実施割合が全国調査の結果に比べて高いことが挙げられる。

過去 1 年間に行った運動・スポーツ種目

■2020 鳴門市の成人男性（n=150／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	45.3%	68
2	ウォーキング	34.0%	51
3	筋力トレーニング	26.0%	39
4	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	21.3%	32
4	釣り	21.3%	32
6	ジョギング・ランニング	16.0%	24
7	サイクリング	13.3%	20
8	ゴルフ（コース）	12.0%	18
9	ボウリング	10.7%	16
10	ゴルフ（練習場）	8.7%	13
	なわとび	8.7%	13

■2018 全国の成人男性（n=1491／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	26.0%	387
2	ウォーキング	24.1%	360
3	筋力トレーニング	17.4%	259
4	ゴルフ（コース）	14.8%	221
5	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	14.0%	209
6	ジョギング・ランニング	13.3%	199
7	ゴルフ（練習場）	11.7%	174
8	釣り	11.6%	173
9	ボウリング	11.1%	165
10	キャッチボール	8.1%	121

■2020 鳴門市の成人女性（n=190／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	46.8%	89
2	ウォーキング	41.6%	79
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	35.8%	68
4	筋力トレーニング	20.5%	39
5	ジョギング・ランニング	10.5%	20
6	ヨガ	10.0%	19
7	なわとび	8.9%	17
8	水泳	7.9%	15
9	卓球	6.8%	13
10	キャッチボール	6.3%	12
	ボウリング	6.3%	12

■2018 全国の成人女性（n=1509／複数回答可）

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	35.8%	540
2	ウォーキング	26.6%	401
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	25.0%	378
4	筋力トレーニング	13.1%	198
5	ヨガ	9.7%	147
6	ボウリング	8.7%	132
7	卓球	6.6%	100
8	バドミントン	6.4%	97
9	水泳	6.1%	92
10	なわとび	6.0%	91

② 今後行いたい運動・スポーツ

現在行っているものを含めた、今後行いたい運動・スポーツの種目を見ると、全ページの過去1年間に
行った運動・スポーツの種目のように、全国調査と同様の結果となった。

今後行いたい運動・スポーツ種目

■2020 鳴門市の成人男性 (n=151／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	散歩（ぶらぶら歩き）	36.4%	55
2	ウォーキング	29.8%	45
3	筋力トレーニング	27.8%	42
4	釣り	21.2%	32
5	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	19.9%	30
6	ジョギング・ランニング	14.6%	22
7	登山	13.2%	20
8	ボウリング	12.6%	19
9	ゴルフ（コース）	11.9%	18
10	サイクリング	11.3%	17

■2018 全国の成人男性 (n=1491／複数回答可)

順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	21.0%	313
2	筋力トレーニング	20.7%	309
3	散歩（ぶらぶら歩き）	17.6%	262
4	釣り	17.1%	255
5	ゴルフ（コース）	15.3%	228
6	ジョギング・ランニング	12.9%	192
7	キャンプ	11.8%	176
8	サイクリング	11.2%	167
9	ゴルフ（練習場）	10.7%	159
10	水泳	10.5%	156

■2020 鳴門市の成人女性 (n=190／複数回答可)

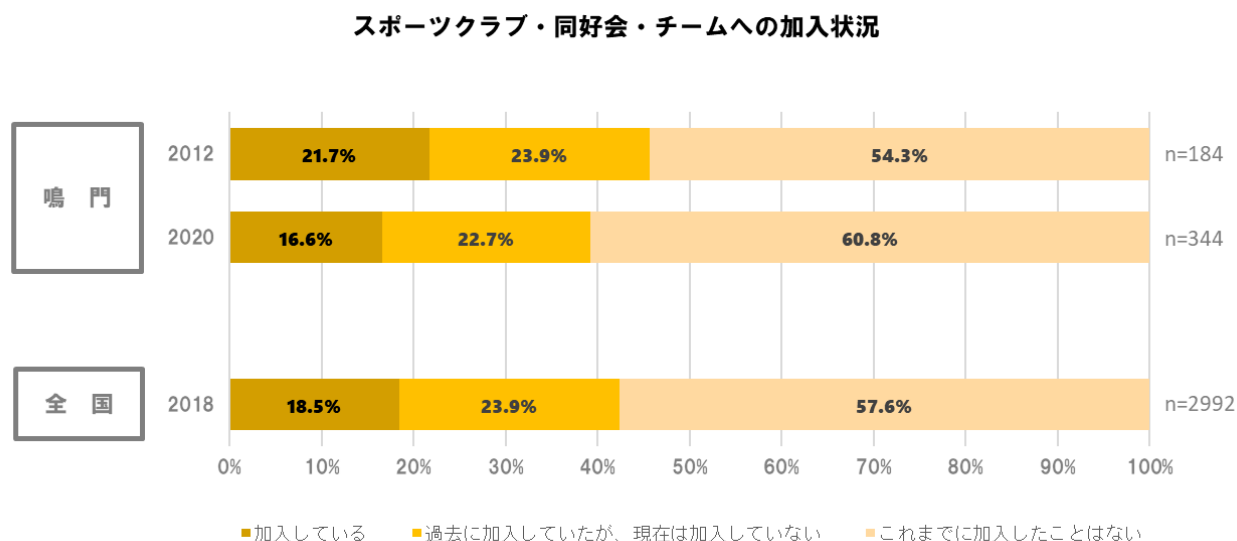
順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	41.6%	79
2	散歩（ぶらぶら歩き）	36.3%	69
3	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	33.7%	64
4	筋力トレーニング	25.8%	49
5	ヨーガ	18.4%	35
6	卓球	15.8%	30
7	ジョギング・ランニング	13.7%	26
7	水泳	13.7%	26
9	バドミントン	11.6%	22
10	なわとび	9.5%	18

■2018 全国の成人女性 (n=1509／複数回答可)

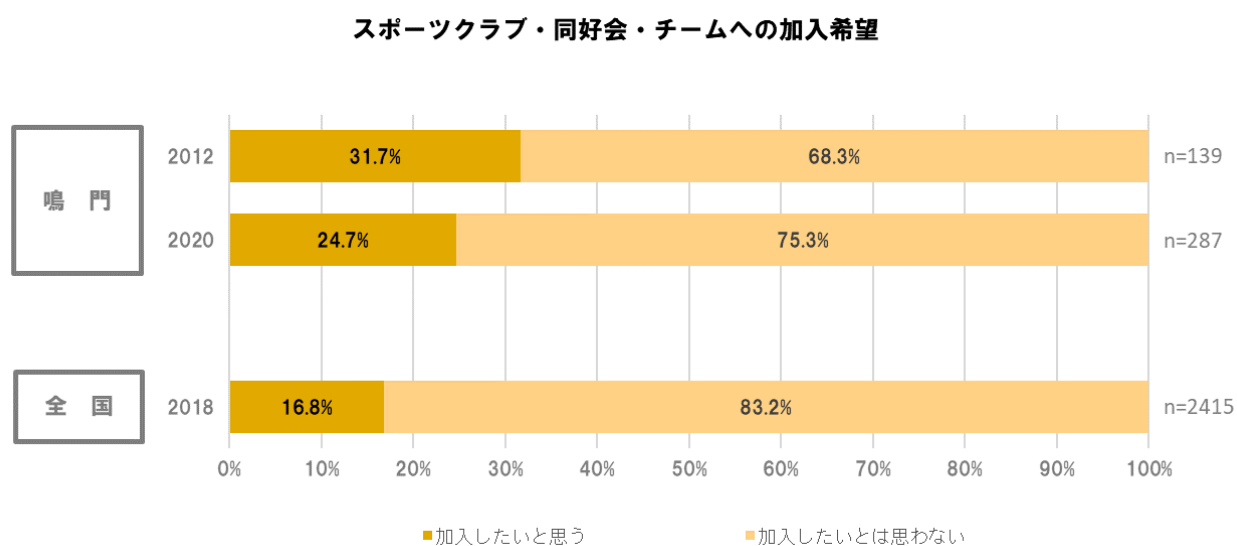
順位	種目	割合	n
1	ウォーキング	27.9%	421
2	散歩（ぶらぶら歩き）	27.7%	418
3	ヨーガ	23.7%	358
4	体操（軽い体操・ラジオ体操など）	21.9%	330
5	筋力トレーニング	15.8%	239
6	水泳	14.4%	217
7	ハイキング	9.3%	141
8	卓球	8.6%	130
9	バドミントン	8.3%	126
10	ボウリング	8.2%	124

③ スポーツクラブ・同好会・チーム

スポーツクラブや同好会、チームへの加入状況をみると、前回調査時の加入割合（21.7%）よりも数字を下げ（16.6%）、全国調査における加入割合（18.5%）を下回る結果となっている。

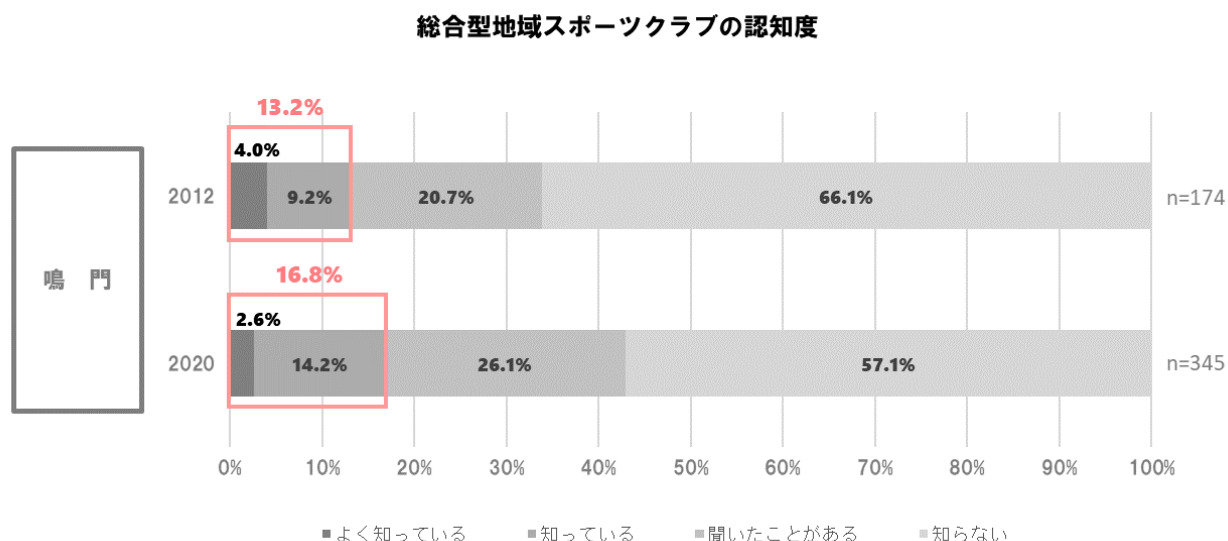


現在、スポーツクラブや同好会、チームに加入していない方の今後の加入希望をみると、前回調査時の加入を希望する割合（31.7%）より数字を下げたが（24.7%）、全国調査の結果（16.8%）より高い割合を保っている。



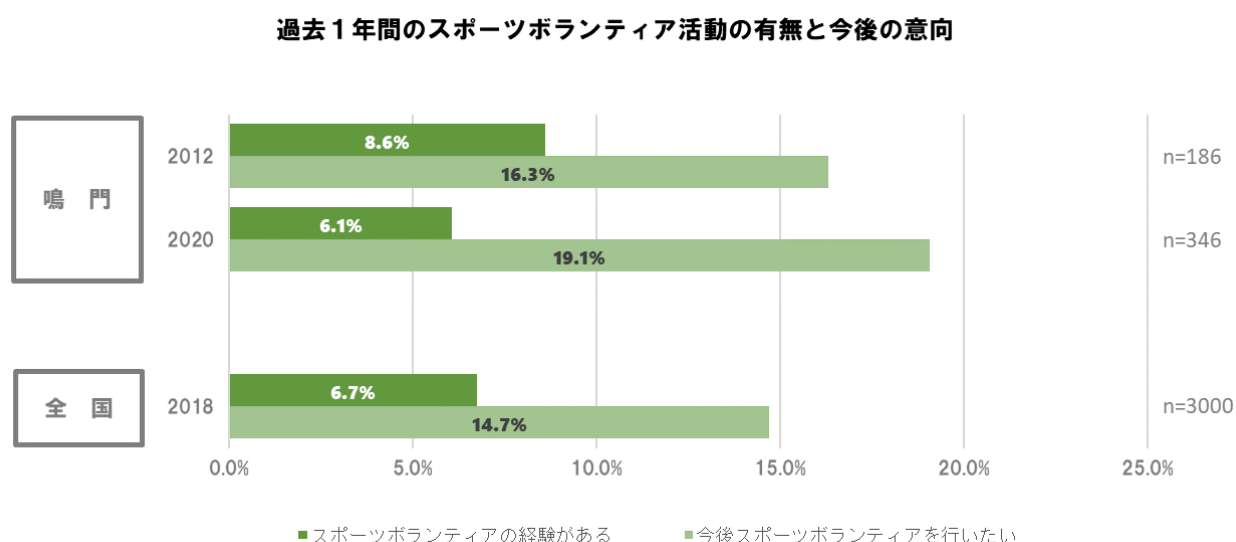
④ 総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブの認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）をみると、前回調査時の割合（13.2%）よりも高くなった（16.8%）。クラブの存在が徐々に浸透してきていると考えられるが、計画の目標である30%を達成することはできなかった。



⑤ スポーツボランティア

過去1年間にスポーツボランティア活動を行った経験がある人の割合は、前回の調査結果（8.6%）より数字を下げ（6.1%）、全国調査の結果（6.7%）も下回った。反対に、「今後スポーツボランティアを行いたい」と答えた人の割合は前回調査の結果（16.3%）より高くなっている（19.1%）。

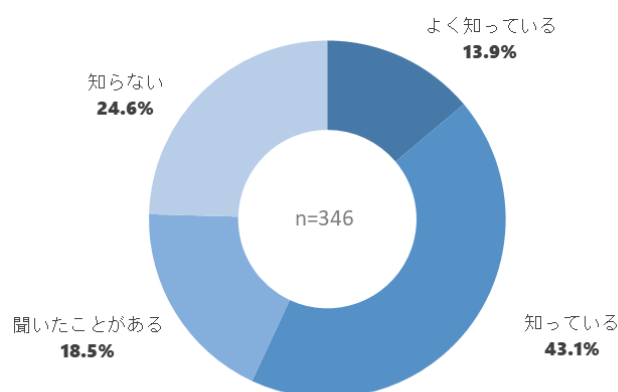


⑥ ゴールデン・スポーツイヤーズ

日本で「ラグビーワールドカップ 2019」「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」と、大規模な国際スポーツ大会が連続して開催されることから、これらを総称して「ゴールデン・スポーツイヤーズ」と呼ばれている。

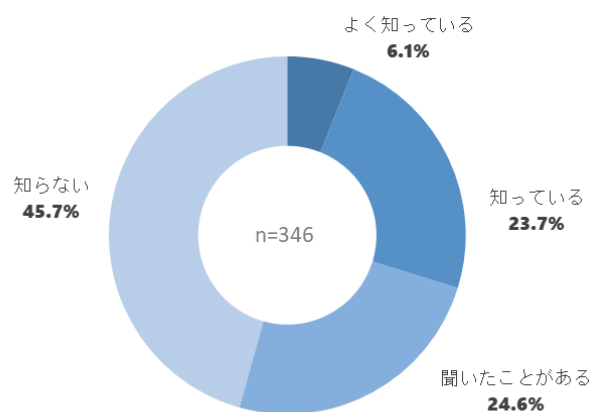
ラグビーワールドカップ 2019 におけるジョージア代表の事前キャンプが鳴門で行われたことについての認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）は 57.0%と過半数に上った。

ラグビーワールドカップ2019 ジョージア代表事前キャンプの認知度



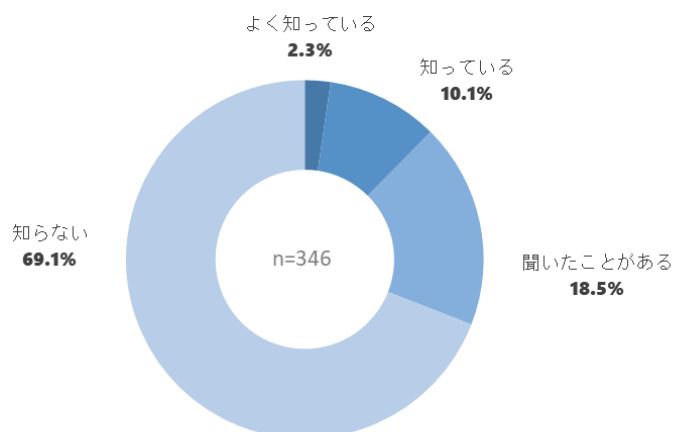
一方で、東京 2020 オリンピック・パラリンピックドイツ代表事前キャンプについての認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）は 29.8%となっている。ただし、ラグビーワールドカップ 2019 ジョージア代表の事前キャンプはすでに実施済みであり、チームの滞在中には多くの報道がなされたことも影響していると考えられる。

東京2020オリンピック・パラリンピック ドイツ代表事前キャンプの認知度



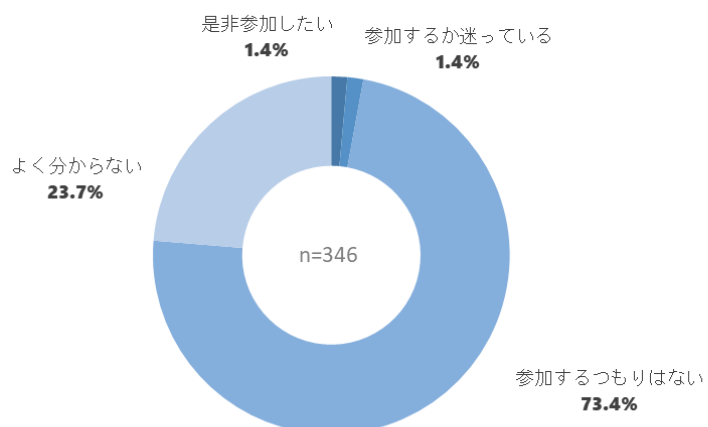
ワールドマスタースゲームズ 2021 関西の認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）は 12.4% で、8 人に 1 人程度にしか知られていない状況となっており、大会開催が十分に周知されているとは言い 難い結果となっている。

ワールドマスタースゲームズ2021関西の認知度



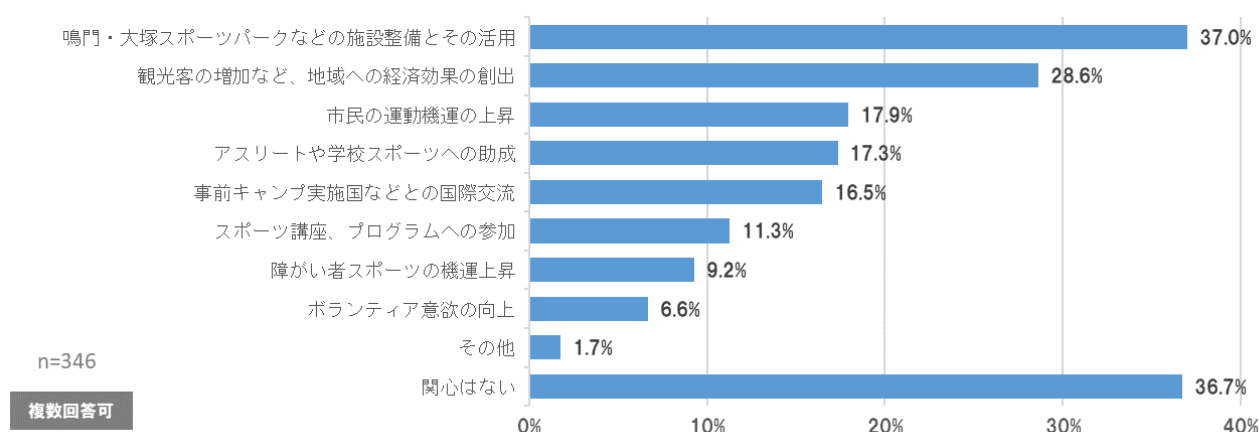
ワールドマスタースゲームズ 2021 関西に参加の意向を示しているのは 1.4%となっている。大会開催の周知が進まなければ参加意欲の向上は望めない。

ワールドマスタースゲームズ2021関西への参加意向



ゴールデン・スポーツイヤーズ終了後のスポーツレガシーの創出について関心のあることについて、最も多かったのが「鳴門・大塚スポーツパークなどの施設整備とその活用」、次いで「観光客の増加など、地域への経済効果の創出」であった。同時に、3人に1人程度（36.7%）はスポーツレガシーの創出について「関心はない」という結果となった。

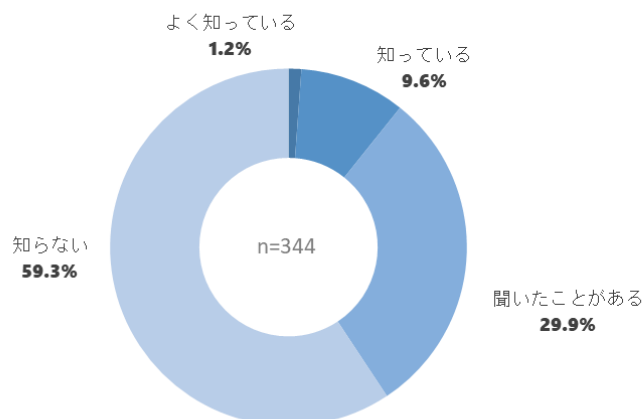
ゴールデン・スポーツイヤーズ終了後のスポーツレガシーの創出について



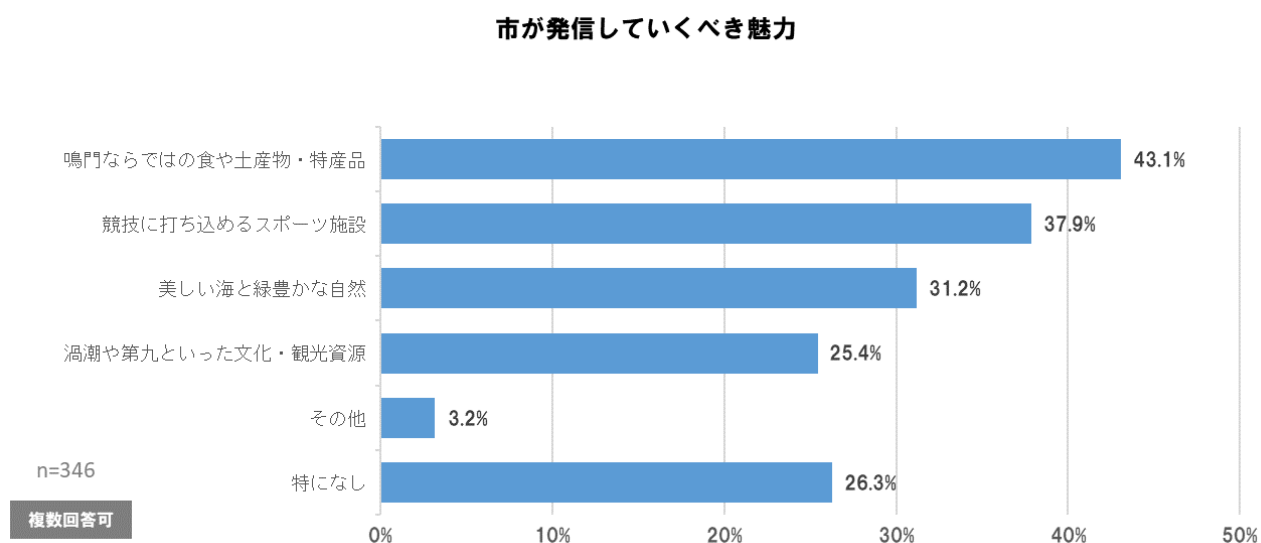
⑦ スポーツを通じた地域活性化

市がスポーツを産業と捉え、スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいることについての認知度（「よく知っている」と「知っている」の合計）は10.8%であったが、「聞いたことがある」と答えた人を含めると、40.7%の市民がこの取り組みについて見聞きしたことがあるという結果となった。

スポーツを通じた地域活性化に関する市の取り組みの認知度

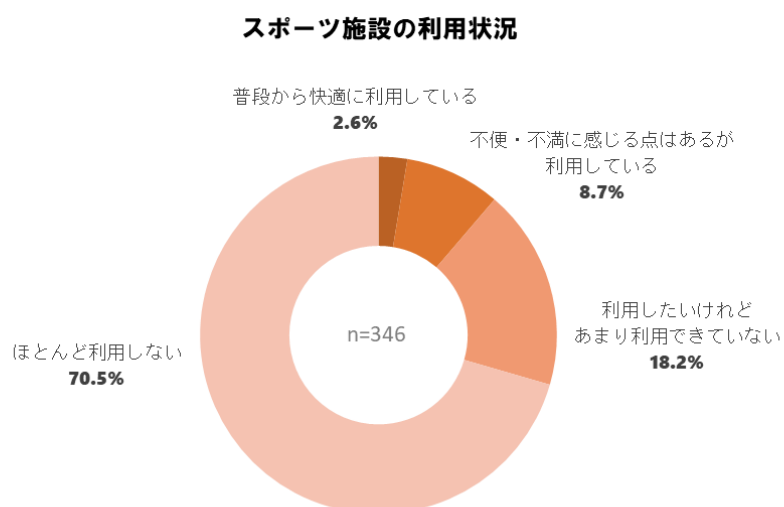


スポーツツーリズムや大会・合宿誘致を実現する上で市が発信していくべき魅力については、「鳴門ならではの食や土産物・特産品」が最も多く、「競技に打ち込めるスポーツ施設」よりも上位となった。



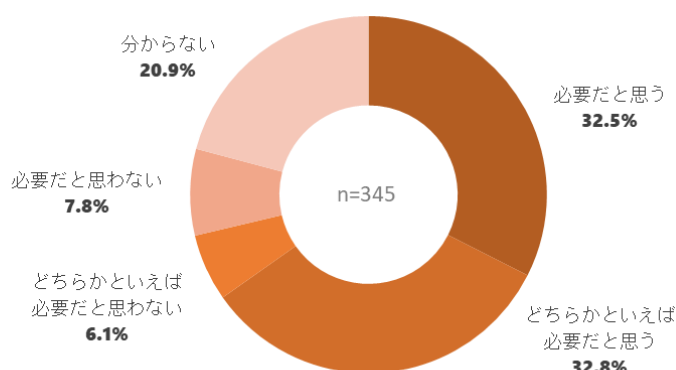
⑧ スポーツ施設の整備

市のスポーツ施設については、70.5%の市民が「ほとんど利用しない」と答えている。



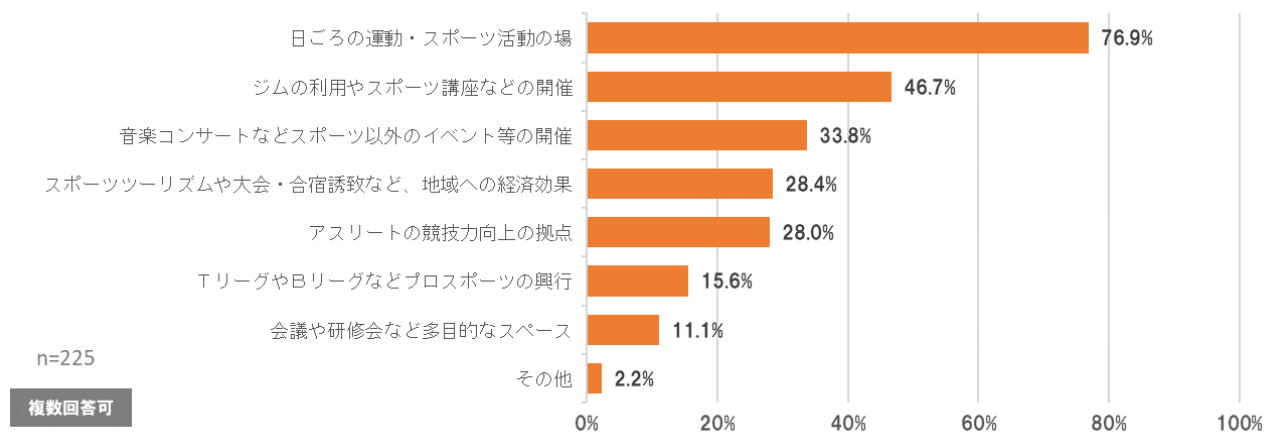
新しいスポーツ施設が必要（「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計）という割合は65.3%となっており、新しいスポーツ施設は不要（「必要だと思わない」と「どちらかといえば必要だと思わない」の合計）という割合（13.9%）を大きく上回った。

新しいスポーツ施設の必要性



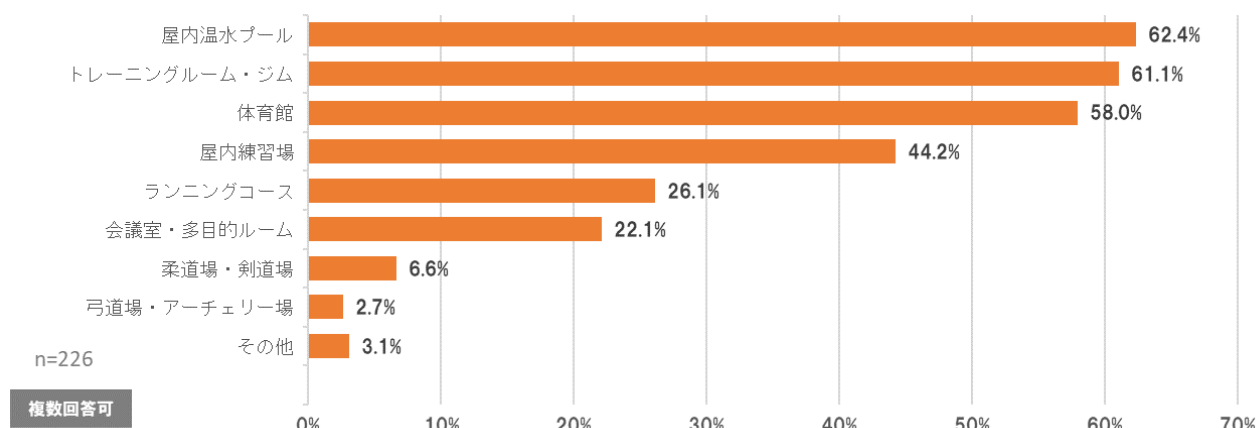
新しいスポーツ施設を整備する場合、施設に望む役割として特に重要視することは、「日ごろの運動・スポーツ活動の場」が最も多く、次いで「ジムの利用やスポーツ講座などの開催」となっており、自身の普段の運動・スポーツ活動に関わる役割が多く望まれている。

新しいスポーツ施設に望む役割



新しいスポーツ施設を整備する場合に必要な設備としては、「屋内温水プール」が最も多く、次いで「トレーニング・ジム」「体育館」という結果であった。

新しいスポーツ施設に必要な設備



新しいスポーツ施設を「必要だと思わない」理由について、「勤労者体育センターや鳴門・大塚スポーツパークで十分」「新たに整備するのは財政的負担が大きすぎる」という意見が最も多い。

新しいスポーツ施設が不要である理由

